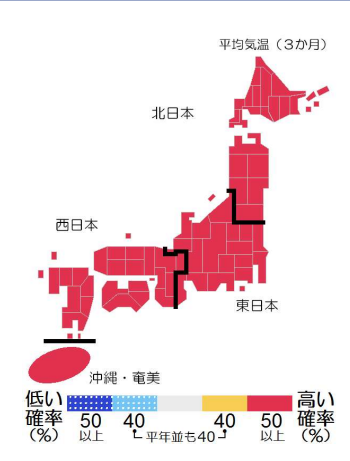
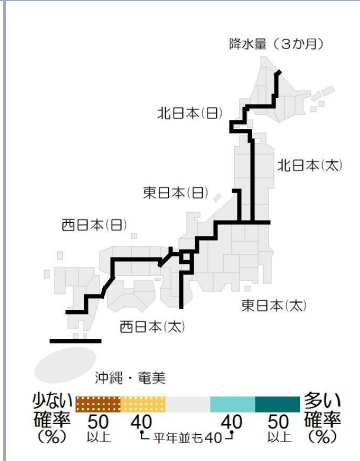


向こう3か月の天候の見通し
全国（9月～11月）

予報のポイント

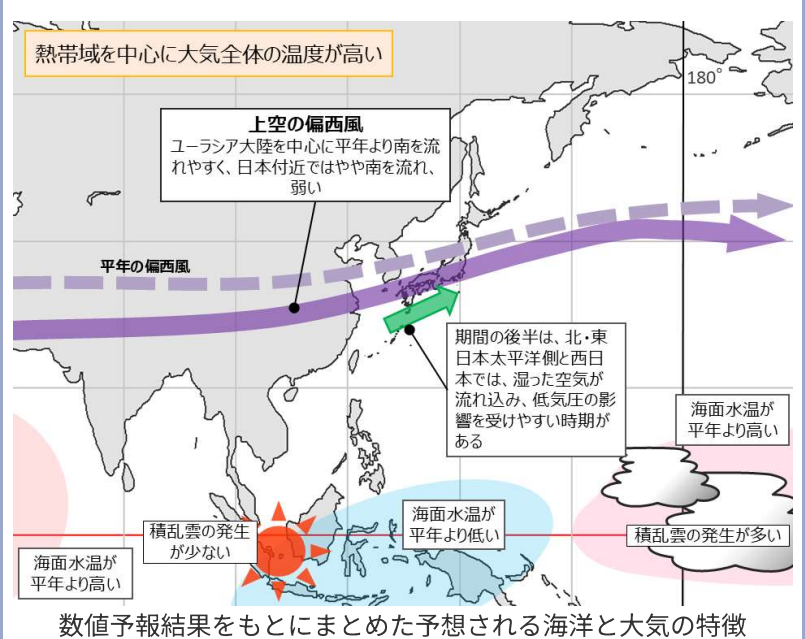
- 向こう3か月の気温は、暖かい空気に覆われやすいため、全国的に高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並ですが、北・東日本太平洋側と西日本では、低気圧の影響を受けやすく、11月の降水量は平年並が多いでしょう。

向こう3か月の平均気温・降水量

		平均気温（向こう3か月）	降水量（向こう3か月）
北日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低10 並30 高60% 高い見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低10 並40 高50% 高い見込み	少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低20 並30 高50% 高い見込み	少40 並30 多30% ほぼ平年並の見込み
数値は予想される出現確率（％）です			

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。
「平年並」がどの程度の値になるのかについては、参考資料（<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/zenpan3.html>）をご覧ください。
文章による解説については、確率の大きさに応じた言葉で表現しています。詳しくは本資料末尾の「参考（確率予報の解説）」をご覧ください。

- 地球温暖化やエルニーニョ現象の影響で、熱帯域を中心に大気全体の温度が高いでしょう。
- エルニーニョ現象が冬にかけて続く見込みで、海面水温は太平洋赤道域の東部から中部で高く、積乱雲の発生はこれらの海域で多いでしょう。一方、インド洋東部からインドネシア付近にかけては積乱雲の発生が少ないでしょう。
- このため、上空の偏西風はユーラシア大陸を中心に平年より南を流れやすく、日本付近では平年よりやや南を流れ、弱い見込みです。
- これらのことから、日本付近は暖かい空気に覆われやすいでしょう。
- 期間の後半は、北・東日本太平洋側と西日本では、湿った空気が流れ込み、低気圧の影響を受けやすい時期があるでしょう。



3か月予報は、主に熱帯域のゆっくりとした海洋変動の大気への影響に基づいています。

中高緯度の気象独自の変動（寒帯前線ジェット気流の蛇行や北極振動等）は予測の不確実性が大きいので、予報を検討するにはこの点も考慮しています。

月別の天候

9月	• 北・東日本と西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 • 西日本太平洋側と沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
10月	• 北・東日本と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 • 西日本では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
11月	• 北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 • 北・東日本太平洋側では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 • 東日本日本海側と沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 • 西日本日本海側では、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 • 西日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧の影響を受けやすいため、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

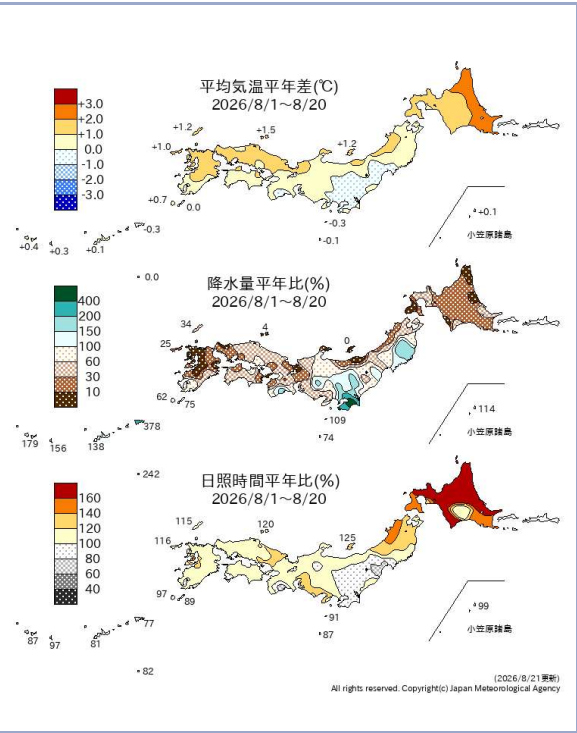
		平均気温 9月	平均気温 10月	平均気温 11月
北日本		低10 並30 高 60% 高い 見込み	低20 並30 高 50% 高い 見込み	低20 並30 高 50% 高い 見込み
東日本		低10 並30 高 60% 高い 見込み	低20 並30 高 50% 高い 見込み	低20 並30 高 50% 高い 見込み
西日本		低20 並30 高 50% 高い 見込み	低20 並30 高 50% 高い 見込み	低20 並30 高 50% 高い 見込み
沖縄・奄美		低30 並30 高 40% ほぼ 平年並の見込み	低10 並40 高 50% 高い 見込み	低20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		平均気温 9月 北日本 西日本 東日本 沖縄・奄美 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 平年並も40	平均気温 10月 北日本 西日本 東日本 沖縄・奄美 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 平年並も40	平均気温 11月 北日本 西日本 東日本 沖縄・奄美 低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%) 平年並も40

		降水量 9月	降水量 10月	降水量 11月
北日本	日本海側	少30 並30 多 40% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み
	太平洋側	少30 並30 多 40% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少20 並 40 多 40% 平年並が多い 見込み
東日本	日本海側	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み
	太平洋側	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少20 並 40 多 40% 平年並が多い 見込み
西日本	日本海側	少 40 並30 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少20 並 40 多 40% 平年並が多い 見込み
	太平洋側	少 40 並30 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少20 並 40 多 40% 平年並が多い 見込み
沖縄・奄美		少 40 並30 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み	少30 並 40 多30% ほぼ 平年並の見込み
数値は予想される出現確率 (%) です		降水量 9月 北日本(日) 北日本(太) 東日本(日) 東日本(太) 西日本(日) 西日本(太) 沖縄・奄美 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 平年並も40	降水量 10月 北日本(日) 北日本(太) 東日本(日) 東日本(太) 西日本(日) 西日本(太) 沖縄・奄美 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 平年並も40	降水量 11月 北日本(日) 北日本(太) 東日本(日) 東日本(太) 西日本(日) 西日本(太) 沖縄・奄美 少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%) 平年並も40

補足事項

最新の1か月予報もあわせてご利用ください。

- 千島の東から高気圧が北日本付近に張り出しやすく、北・東日本日本海側と西日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。このため、日照時間は北海道地方を中心に平年を大きく上回り、降水量は北・東・西日本日本海側を中心に平年を大きく下回りました。一方、東北太平洋側や関東甲信地方では、湿った東寄りの風の影響を受けやすく、また、台風第15号が11日に茨城県南部に上陸し、13日から14日にかけては上空の寒気や湿った空気の影響で「令和8年8月千葉豪雨」が発生し、千葉県では線状降水帯が発生しました。このため、降水量は平年を上回った所があり、日照時間は平年を下回った所がありました。沖縄・奄美では、台風第13号が6日から8日頃に沖縄地方を通過し、その後も湿った空気の影響を受けやすかったため、降水量は平年を大きく上回り、日照時間は平年を下回りました。
- 気温は、上旬を中心に日本付近で偏西風が平年より北寄りを流れやすく、北・東日本日本海側と西日本は高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、東寄りの風の影響を受けた東北太平洋側や関東甲信地方の一部及び台風第13号通過後に海面水温が低下した影響を受けた奄美地方を除き、平年を上回りました。



参考

確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い） 確率が50%以上	高い（多い） 見込み
(20：40：40)	平年並か高い（多い） 見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40：30：30) (30：40：30) (30：30：40)	ほぼ平年並の見込み
(40：40：20)	平年並か低い（少ない） 見込み
低い（少ない） 確率が50%以上	低い（少ない） 見込み

気温・降水量・日照時間等の平年値につきましては、次のページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/sankou/zenpan3.html>



天気日数（晴れ日数及び降水日数）の平年値につきましては、次のページをご覧ください。
<https://www.data.jma.go.jp/cpd/longfcst/kaisetsu/tenkinissuu/tenkinissuu.html>

